

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### A. コースワークの充実・強化

#### ①人材養成目的に沿った科目構成の整理

##### 《医療系》

#### ●東京医科歯科大学医歯学総合研究科顎顔面頸部機能再建学系専攻 「歯科医学における基礎・臨床ボーダレス教育」の事例

(具体的に何を実施したのか)

優れた研究能力等を備えた臨床歯科医等の育成および臨床指向型研究分野で世界をリードする研究者の育成を目的とし、基礎・臨床の両分野にまたがるコース授業として、口腔化学・機能コース、組織材料工学コース、発生・再構築学コースおよび健康科学コースの4コース授業を開講し、単位化した。生命倫理および知財関連授業については、初年度はコース授業とは別途の講義としたが、2年目からはコース授業に組み込んだ。また、研究発表および論文作成上重要である語学に関して外国人講師による実践英会話授業、Technical and Scientific Writingの講義を、研究を進めるにあたって必須である統計学の応用力をつける目的で実践統計学演習を実施した。これらにより、体系的なコースワークを構築した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・コース別授業では分野別講義よりも広範な知識を得ることを目的として幅広い分野から講師を選ぶとともに、学外からの講師も招聘し、最先端の研究成果に触れる機会を設けた。
- ・生命倫理、知財関連授業については、大学院生、特に1年生にとっては必要性を実感しにくいと思われたが、単位化したコース授業に組み込むことで聴講生数を増やし、多くの大学院生に重要性を認識させることを目標とした。
- ・語学については希望者のみとし、能力別クラスにした。また、統計については個々の事例についての相談に応じた。これにより、個々の学生に対してきめ細かな対応を取ることを可能とした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

- ・コース別授業については、履修した学生のアンケート結果で高い評価を得ただけでなく、コース外の学生の聴講もあり、充実した内容となった。
- ・生命倫理、知財、等の重要ではあるが学生の関心を引きにくい科目については、単位の中に含めることで聴講生を増やすことができた。
- ・語学、統計については論文作成のために有用であったと思われ、統計に関してはリバイス時に指摘された統計的問題への対応により論文が受理されたケース

が増加した。

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### B. 円滑な学位授与の促進

#### ①複数教員による多面的な指導体制の整備

##### 《医療系》

#### ●東京医科歯科大学医歯学総合研究科顎顔面頸部機能再建学系専攻 「歯科医学における基礎・臨床ボーダレス教育」の事例

##### (具体的に何を実施したのか)

多面的な学生指導および研究の質の向上を目指し、学生と所属専攻が同じ主指導教員1名の他に、分野の異なる教員を2名副指導教員とした複数指導体制を整えた。3名の指導教員には基礎分野、臨床分野それぞれから最低1名を含むものとする。3名の指導教員には基礎分野、臨床分野それぞれから最低1名を含むものとする。基礎・臨床融合型の研究体制を構築した。研究の進捗状況については学生および3名の指導教員で年2回の research progress meeting を実施し、報告書をコースリーダーへ提出することで確認した。

##### (実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

分野内での指導を妨げることはない点を理解してもらい、副指導教員の決定については分野長の了解を得ることで、ほぼ100%の教員がプログラムに参加し、全ての学生について2年生上半期の間に副指導教員を決定することができた。副指導教員の心当たりがない場合などは、プログラム・コーディネーターで協議の上推薦するという方式を取った。若手教員の育成という観点から、積極的に若い教員を登用してもらうよう働きかけた。また、共同研究などの場合、守秘義務等には十分に配慮し、副指導教員を学外から選ぶことも可能とした。年2回の research progress meeting については、定期的実施することを重要視し、必ずしも締め切りに合わせずとも、研究の進捗状況あるいは指導教員のスケジュールに合わせて柔軟に対応することとした。

##### (どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

複数の指導教員、特に臨床分野と基礎分野の教員が meeting に加わることで、より広い視野をもった指導ができ、研究の発展に寄与した。本取組に参加した教員および学生によるアンケート結果でも有意義であったという意見が多かっただけでなく、G-COE のスーパースチューデントの選抜試験でも本プログラム参加者が圧倒的な採択率を示した。さらに、最終的に質の高い論文作成に繋がり、インパクト・ファクターのある雑誌に掲載される学位論文の数が増加し、大学院教育のボトム・アップにつながった。